

二年国語教室通信

「昔話」の感想（ワークシート）から

ワークシートを使つての学習は軌道に乗つてきたでしょうか。自分で読み、考えてみる、書いてみるのが大事です。考えてみてもわからないときは、解答例を見てみましょう。そのまま書き写してもかまいませんが、解答例を見てから、もう一度自分で考えてみて、解答例を見ないで書いてみたほうがいいでしょう。内容をまとめるのは、難しいですが、力のつく学習ですし、慣れるとまとめ方もわかってきます。頑張つて取り組んでみてください。

ワークシートには、皆さんの考えが書いてあり、読んでいてとても面白く、また考えさせられました。いくつか紹介しましょう。

小さいころの思い出は「家族の思い出話」として残っていると書いたSさん。「今でも家族で『あのときはこうだった。』『いや、ああだった。』と昔のことが話題になりました。その時、皆の記憶が曖昧であるから、美化され、大切にされてきた思い出があります。それぞれの美化のされ方が違うので、ツツコミあうのもいいですね。私は映像ではなく、家族の思い出話が心に残っています。」と書いてくれました。そして、本文を読んで筆者の考えを知った後、

このように書いています。

「映像の記憶が残れば残るほど、証拠に甘えて、人は記憶する努力を怠る。」現代はスマートフォンが普及し、長々と直接話すのではなく、短文でのメールのみの会話が増えました。そのせいか、長い話を聞くのが苦手な人が増えた気がします。そんな私も十三歳ですが、親から昔話を聞くのも減り、時代は「昔話離れ」が始まっているのでは、と考えます。記憶から記録に変わるのかもしれませんが。

記憶から記録へ。確かに、記録は必要でしょう。でも、個人の中にある「記憶」こそがその人の人生の支えであり、彩りであるのかもしれないと思うと、Sさんの鋭い指摘に、筆者と同じ危惧を抱いてしまいます。皆さんはどうでしょうか。

Mさんはこう書きました。「家族の思い出話が一番心に残る大切なものだと思う。なぜなら、それは時に人の心に希望や前に踏み出す力を与えてくれると思うから。」その上で、Mさんは筆者の考えに対してこう書いています。

筆者は、「何十年も色あせない記憶を持っていることは、人間が生きていく上で大きな支えになる」と書いている。私は家族の昔話を聞いたり、自分も加わって十年

前の話に興じたりすることがある。そのようなとき、家族の記憶が一致しないことも多々あるが、みんな幸せそうな顔をしている。だから、私も、色あせない記憶は、人の心に大きな糧を与えると感じる。

正確な記録が必要とされる場面では、映像による証拠や証明は大切でしょう。けれど、Mさんが書いているように、正確さより、楽しさや豊かさや幸福感が大切な場面も、私たちに多いのですね。

映像に「頼り」、「甘える」のではなく、あくまでも利用するという姿勢、そして、自分の言葉で記憶しようという努力が現代には必要なのかもしれません。

頭の体操

次の空欄に漢字を一つ入れて、上から真ん中、真ん中から下、左から真ん中、真ん中から右と四つの熟語を作ります。

本

① 足□気

次

② 偉□気

拈

③ 作□賃

大

庭

規

④ 予□価

確

答

⑤ 適□援

反

頭

⑥ 着□次

羽

難読漢字 動詞です（「お」く「く」で始まる動詞）

①興す ②陥れる ③脅かす ④赴く ⑤偏る

⑥醸す ⑦奏でる ⑧兆す ⑨窮める ⑩覆す

読書室

「鉄のしぶきがはねる」

まはら三桃（講談社）

工業高校機械科というところなイメージだろう。「ものづくり」「鉄の塊」……という感じだろうか。

この本は、工業高校機械科一年で唯一の女子が「ものづくり」に取り組む青春小説。「旋盤」という高度な技術の習熟に青春をかけ、ものづくりに体当たりで取り組む姿が感動的だ。

まはら三桃の作品は、入試や実力テストなどによく使われる。若者の心情がリアルに描かれているからだろうか。他にも「たまごを持つように」「鷹のように帆をあげて」なども読みやすい青春小説だ。

頭の体操 漢字クイズ 答え

- ① 元（足元・元氣・次元・元本）
- ② 大（偉大・大氣・拡大・大人）
- ③ 家（作家・家賃・大家（おおや・たいか）家庭）
- ④ 定（予定・定価・確定・定規）
- ⑤ 応（適応・応援・反応・応答）
- ⑥ 目（着目・目次・羽目・目頭）

難読漢字 答え

- ① おこす ② おとし入れる ③ おびやかす ④ おもむく
- ⑤ かもす ⑥ かなでる ⑦ きざす ⑧ きわめる
- ⑩ くつがえす